

こども
とちよう
都庁モニター

Let's make and change our future with our own Voice!

とうきょうと
東京都をもっと良くしていくために
みんなのこえをきかせてください!



令和6年度第5回アンケート結果
中高生版

テーマ

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 東京港に関するインフラ情報の一元化 | (3問) P3 |
| (2) 都民防災教育センター | (4問) P8 |
| (3) 消防博物館の特別企画展 | (5問) P13 |
| (4) 「中高生 政策決定参画プロジェクト」 | (1問) P21 |

目的

子供の意見やアイデアを集め、東京都の取り組みにつなげていくことを目的としています。

期間

令和6年12月7日（土）から12月13日（金）まで

実施方法

インターネットを通じて、モニターがパソコン・スマホ・タブレットから回答します。

回答状況

		モニター 人数	回答	
			人数	率
区分別	中学生	201	195	97.0%
	高校生	200	180	90.0%

- ※ 集計結果は百分率（％）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。
- ※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。
- ※ 複数回答方法 . . . （MA）＝いくつでも選択、（3MA）＝3つまで選択、（2MA）＝2つまで選択
- ※ 自由記述回答は原文のまま掲載しています。
- ※ 「高校生」には、高校生相当年齢（15～18歳）の子供を含みます。

テーマ1 東京港に関する インフラ情報の一元化

東京都は、みなさんに、東京港に関する情報をもっと知ってもらうため、誰でも情報を知ることが出来る仕組みを作る予定です。東京港には、物流、観光・レクリエーション、環境、防災など、多くの情報があります。どのような情報に興味があるか、みなさんの意見を聞かせてください。

【調査項目】

- 問1 東京港の役割で知っているもの
- 問2 知りたい・見てみたい東京港の情報
- 問3 見てみたい・興味がある東京港の特殊な機械



東京港の役割で知っているもの

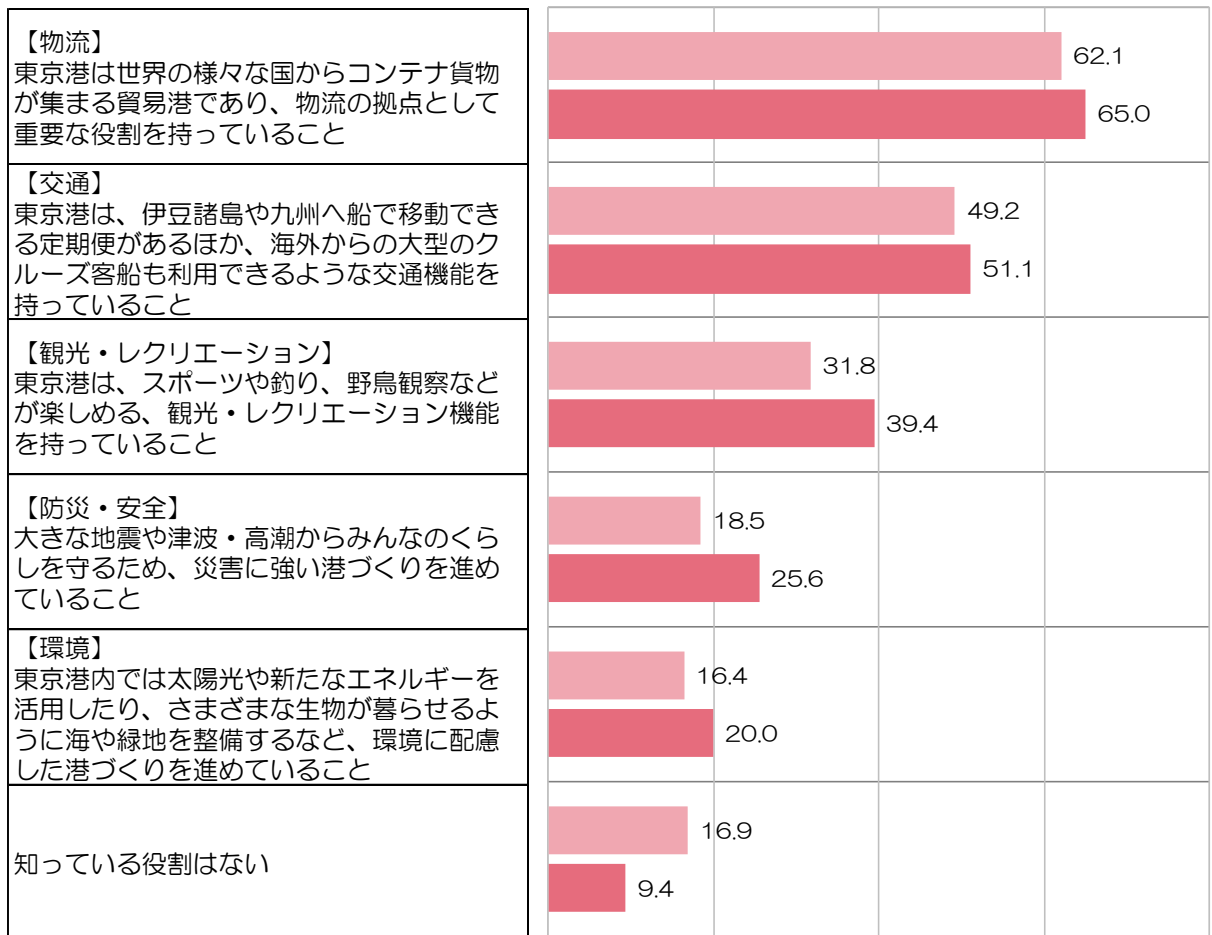
問1 東京都は、みなさんに、東京港に関する情報をもっと知ってもらうため、誰でも情報を知ることが出来る仕組みを作る予定です。東京港には、物流、観光・レクリエーション、環境、防災など、多くの情報があります。どのような情報に興味があるか、みなさんの意見を聞かせてください。



中学生、高校生ともに、【物流】が最も高く、以下、【交通】、【観光・レクリエーション】などと続いています。

【年代別回答結果】

MA ■ 中学生(n=195) ■ 高校生(n=180)
0% 20% 40% 60% 80%



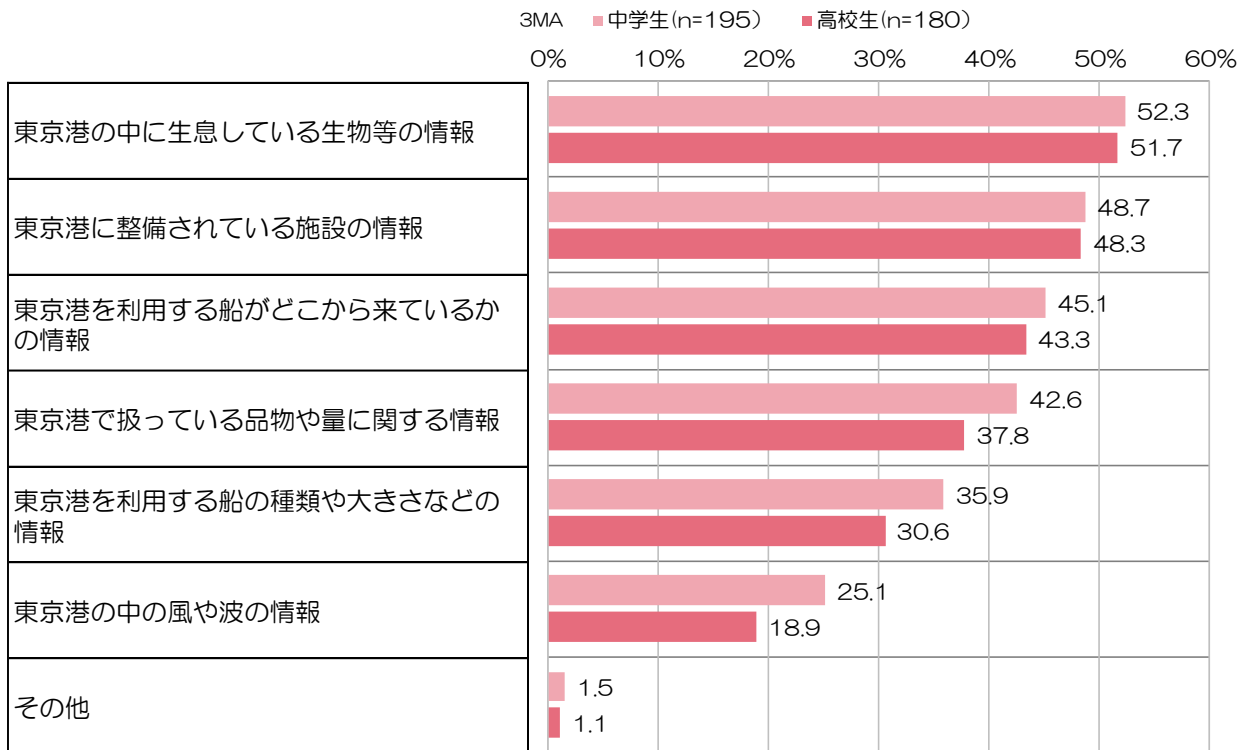
知りたい・見てみたい東京港の情報

問2 東京港に関する情報の中で、知りたい・見てみたい情報はありますか。あてはまるものを3つまで選んでください。



中学生、高校生ともに「東京港の中に生息している生物等の情報」が最も高く、以下、「東京港に整備されている施設の情報」、「東京港を利用する船がどこから来ているかの情報」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- ・ 東京港と外国の関わり（貿易関係など）（中学生 女性 町田市）

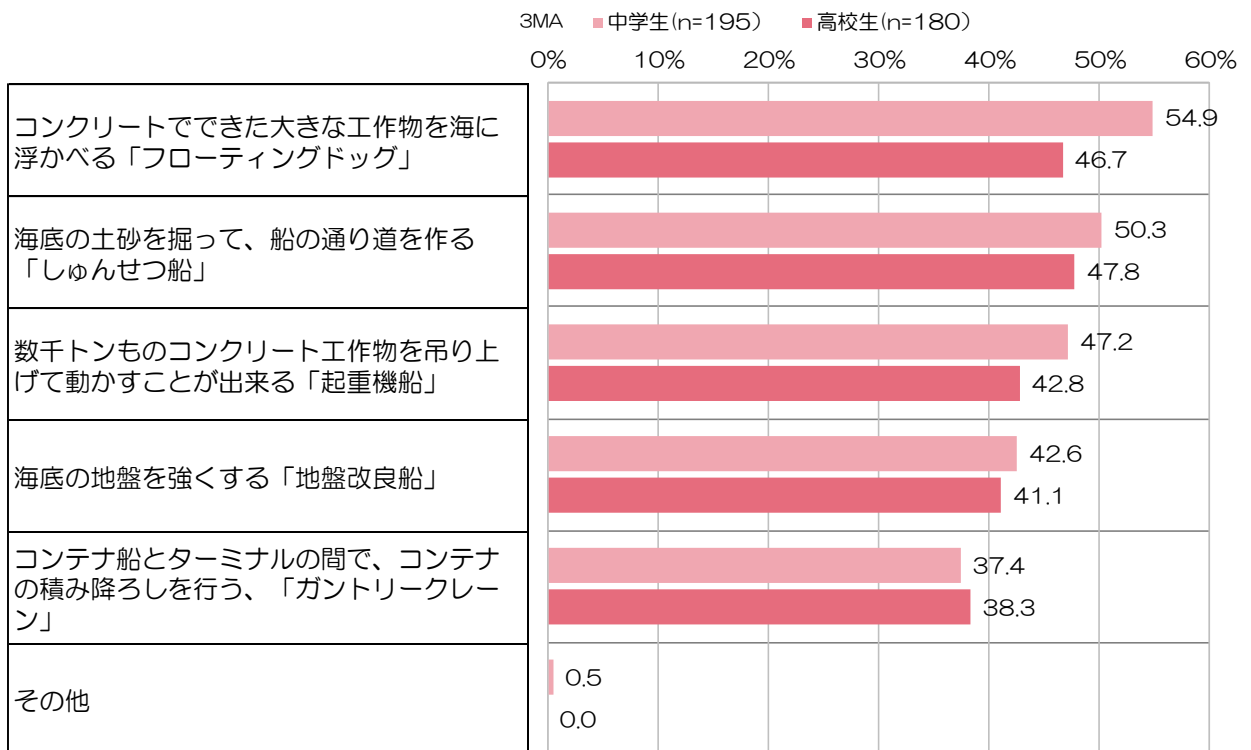
見てみたい・興味がある東京港の特殊な機械

問3 東京港では、【問1】にあるような役割を担うために、様々な作業・工事が行われており、いろんな特殊な機械が活躍しています。
 この中に、見てみたい・興味がある機械はありますか。
 あてはまるものを3つまで選んでください。



中学生では、「コンクリートでできた大きな工作物を海に浮かべる「フローティングドック」」が最も高くなっています。
 一方、高校生では、「海底の土砂を掘って、船の通り道を作る「しゅんせつ船」」が最も高くなっています。

【年代別回答結果】



ガントリークレーン



出典 「東京都港湾局HP」

しゅんせつ船



出典 「東京都港湾局パンフレット」

フローティングドック



出典 「日本作業船協会HP」
船名：大山1100-29
所有：株式会社山本精工所

起重機船



出典 「日本作業船協会HP」
船名：海翔
所有：寄神建設株式会社

地盤改良船



出典 「日本作業船協会HP」
船名：ばいおにあ第30フドウ丸
所有：株式会社不動テトラ

テーマ2 都民防災教育センター

東京消防庁では、「いつでも・誰でも・楽しく」防災に関する知識や技術を体験しながら学べる、都民防災教育センター（以下、「防災館」）を池袋、本所、立川の3か所で運営しています。

防災館では、消火器の使い方が学べる消火体験や、震度7の揺れを体感できる地震体験など、さまざまな防災体験を通じて、火事・地震・台風（水害）などの災害や、応急手当の方法などについて学ぶことができます。

より多くの方に防災館に来てもらい、防災について学んでいただくため、みなさんの意見を聞かせてください。

防災館ホームページ：

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/taiken/tokyo_bskan/index.html

【調査項目】

- 問1 防災について学びたいこと
- 問2 どのような体験ができれば防災館に行ってみたいと思うか
- 問3 どのようなイベントが開催されたら防災館に行ってみたいと思うか
- 問4 効果的だと思う防災館の宣伝方法



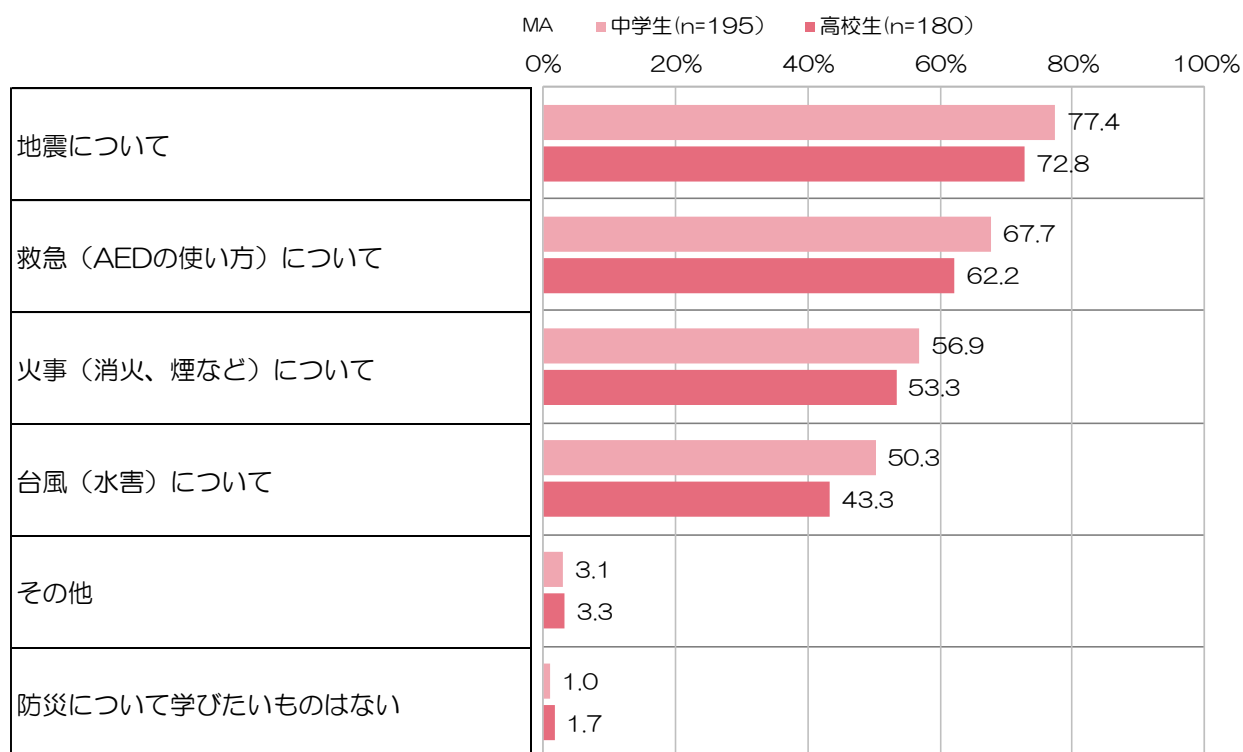
防災について学びたいこと

問1 防災について、どのようなことを学びたいですか？
あなたが学びたいものを、いくつでも選んでください。



中学生、高校生ともに「地震について」が最も高く、以下、「救急（AEDの使い方）について」、「火事（消火、煙など）について」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- 大規模な停電について（中学生 男性 練馬区）
- 障がい者の防災について（高校生 女性 狛江市）

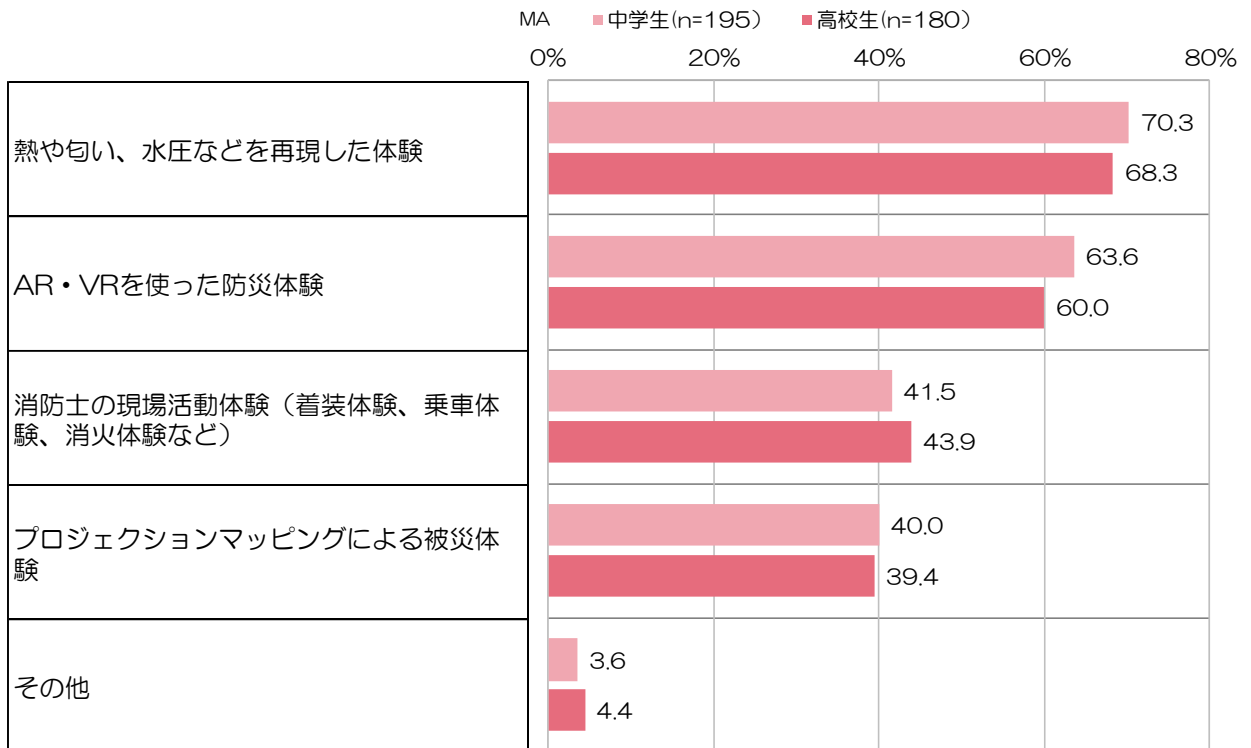
どのような体験ができれば防災館に行ってみたいと思うか

問2 あなたは、どのような体験ができるなら、防災館に行ってみたいと思いますか？
あてはまるものをいくつでも選んでください。
また、体験したいものが選択肢の中にある場合は、あなたが体験したいものを、「その他」欄に自由に記入してください。



中学生、高校生ともに「熱や匂い、水圧などを再現した体験」が最も高く、以下、「AR・VRを使った防災体験」、「消防士の現場活動体験（着装体験、乗車体験、消火体験など）」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- ・ 災害や避難についてのワークショップ（中学生 女性 江戸川区）
- ・ 実際に避難所生活を体験する（高校生 女性 町田市）

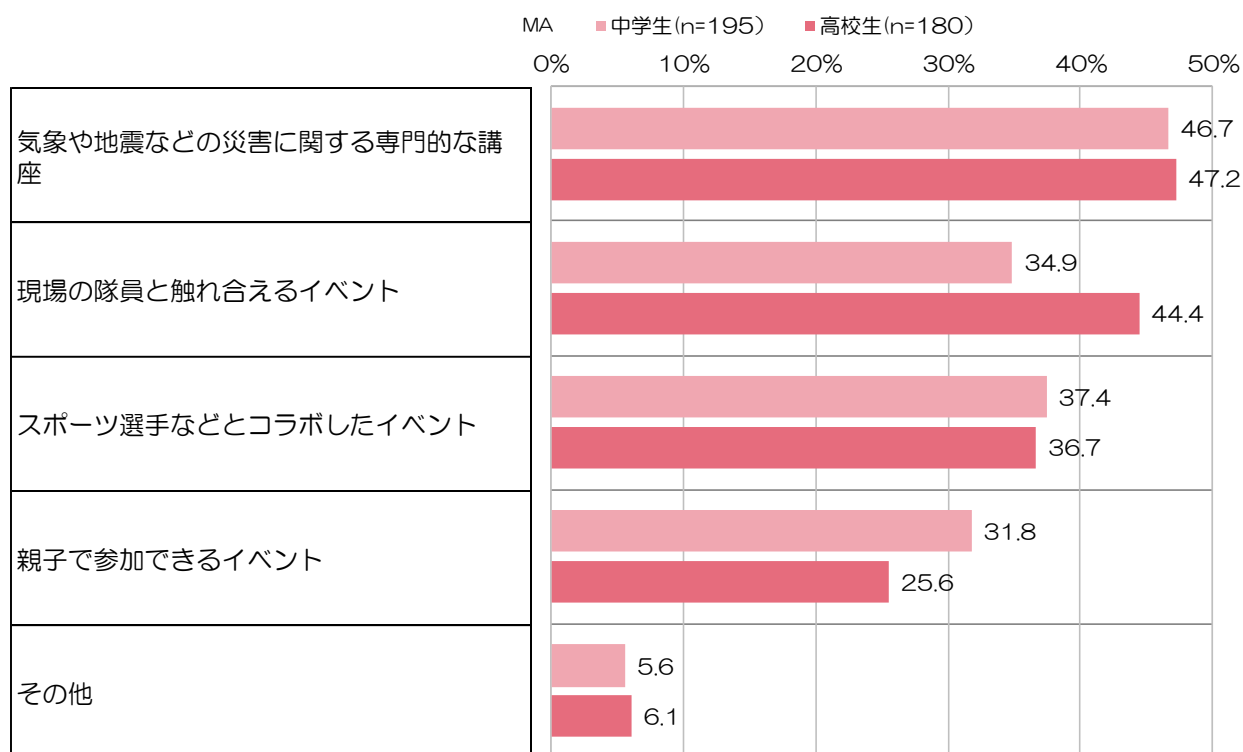
どのようなイベントが開催されたら防災館に行ってみたいと思うか

- 問3 防災館では、定期的に色々なイベントを開催しています。あなたは、どのようなイベントが開催されたら、防災館に行ってみたいと思いますか？あてはまるものをいくつでも選んでください。また、行ってみたいイベントが選択肢の中に入らない場合は、あなたが行ってみたいイベントを、「その他」欄に自由に記入してください。



中学生、高校生ともに「気象や地震などの災害に関する専門的な講座」が最も高くなっています。
二番目に高いものは、中学生では、「スポーツ選手などとコラボしたイベント」、高校生では、「現場の隊員と触れ合えるイベント」でした。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- 現場の隊員さん方だけでなく、被災地に行ったボランティアの人の話などが聞けるイベント（中学生 女性 文京区）

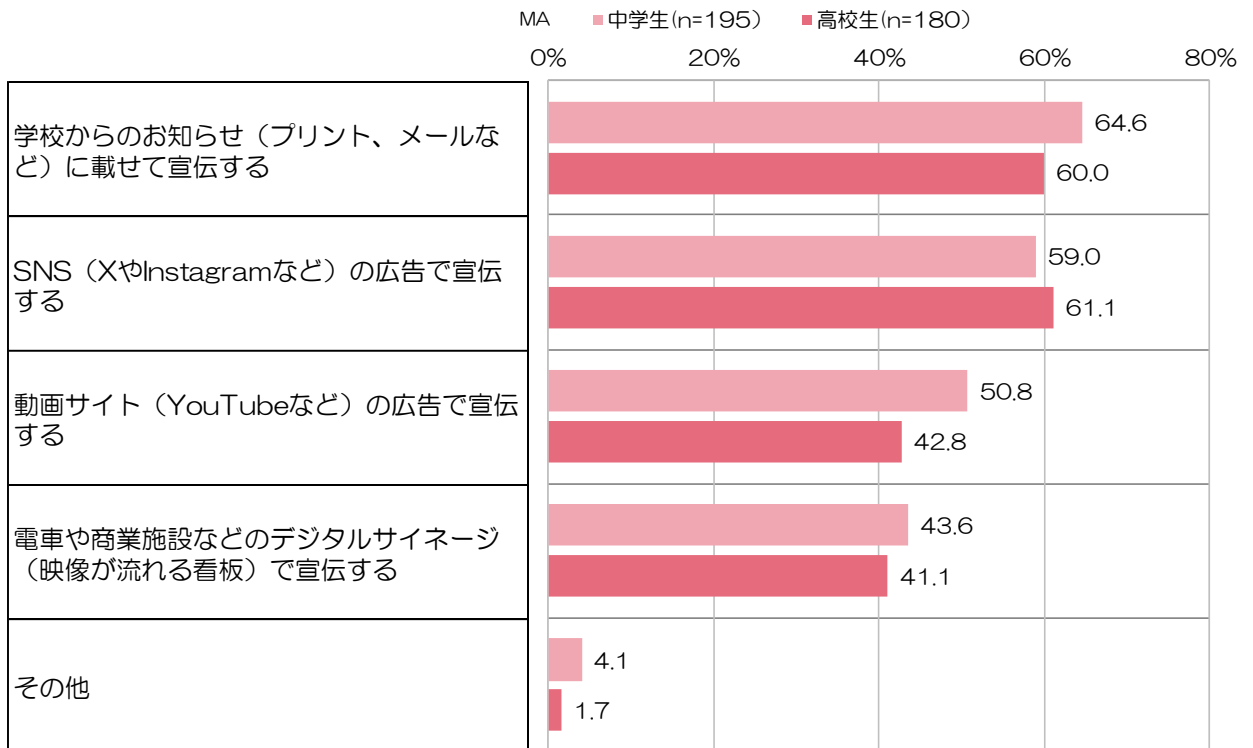
効果的だと思う防災館の宣伝方法

- 問4 防災館を知ってもらうためには、どのような宣伝方法が効果的だと思いますか？
あてはまるものをいくつでも選んでください。
また、効果的だと思う宣伝方法が選択肢の中にある場合は、あなたが効果的だと思う宣伝方法を「その他」欄に自由に記入してください。



中学生では、「学校からのお知らせ（プリント、メールなど）に載せて宣伝する」が最も高くなっています。
一方、高校生では、「SNS（XやInstagramなど）の広告で宣伝する」が最も高くなっています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- 校外学習、出前授業中などでもっと身近に感じられる場を増やしてほしいです
（中学生 男性 杉並区）

テーマ3 消防博物館の特別企画展

消防博物館は、江戸から現代までの消防の歴史に触れながら、防火・防災について学べる施設です。

消防博物館では、昔の消防自動車や、明治時代から現在に至るまでの防火衣や消火に必要な道具などの実物を展示しているほか、年に数回、期間限定の「特別企画展」を開催しています。

たくさんの方が行きたいと思うような魅力的な「特別企画展」にするために、みなさんの意見を聞かせてください。

消防博物館ホームページ：

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-hkkan/museum.html>

【調査項目】

- 問1 消防博物館の来館経験と認知度
- 問2 特別企画展の来場経験と認知度
- 問3 どのような特別企画展が開催されたら行きたいと思うか
- 問4 興味のある消防署の仕事
- 問5 興味のある消防車両

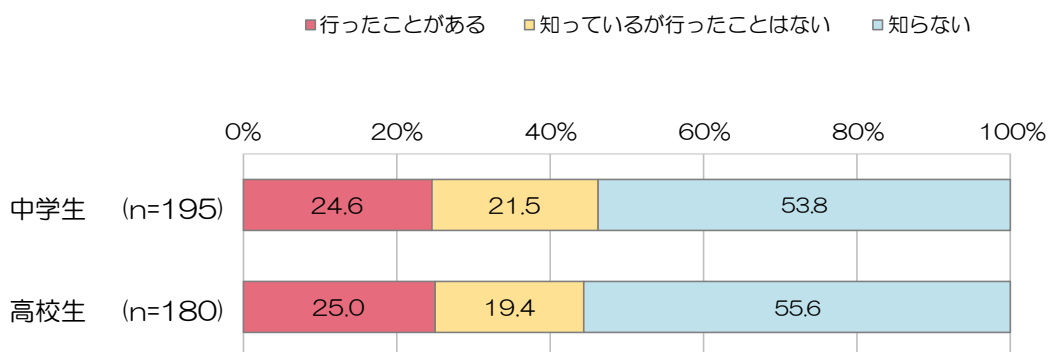


問1 あなたは消防博物館に行ったことがありますか。または知っていますか。



中学生、高校生ともに「知らない」と回答した割合が最も高く、続いて「行ったことがある」、「知っているが行ったことはない」の順でした。

【年代別回答結果】



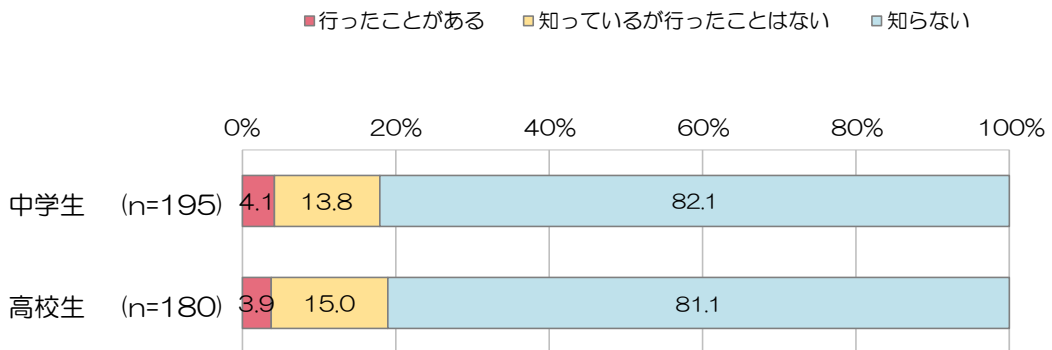
特別企画展の来場経験と認知度

- 問2 消防博物館で開催している特別企画展に行ったことがありますか。または知っていますか。
(ミニカー展、水難救助隊発足50周年記念展、ポスター展など)



中学生、高校生ともに「知らない」と回答した割合が最も高く、続いて「知っているが行ったことはない」、「行ったことがある」の順でした。

【年代別回答結果】



どのような特別企画展が開催されたら行きたいと思うか

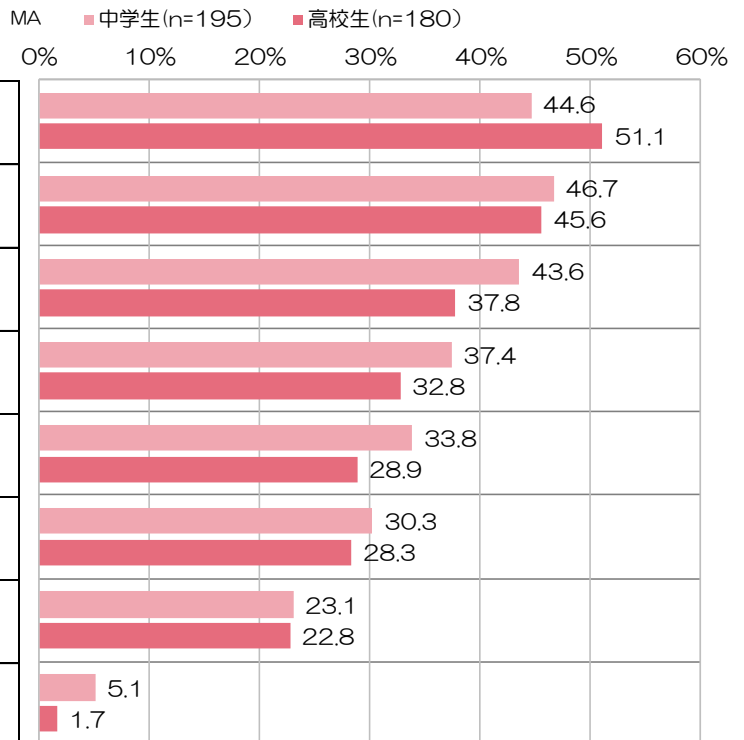
- 問3 あなたは、どのような「特別企画展」が開催されていたら、消防博物館に行ってみたいと思いますか。
 あてはまるものをいくつでも選んでください。
 もし、選択肢の中にない場合は、行ってみたい企画展の内容を「その他」の欄に自由に記入してください。



中学生では、「江戸時代の消防」が最も高く、以下、「明治・大正時代の消防」、「災害の歴史（過去の大火事や大震災など）」などと続いています。

一方、高校生では、「明治・大正時代の消防」が最も高く、以下、「江戸時代の消防」、「災害の歴史（過去の大火事や大震災など）」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- アニメや漫画とのコラボ（中学生 女性 小平市）
- 消防の歴史は興味がないので最新の消防の技術を知りたいです。（中学生 女性 日野市）
- 火災時における消防車の支援の仕方（地域の消防団との連携や地域住民が取り組めること）（高校生 男性 国分寺市）

実際に行われた特別企画展の様子（一部）

水難救助隊発足50周年記念展



江戸から令和の震災展



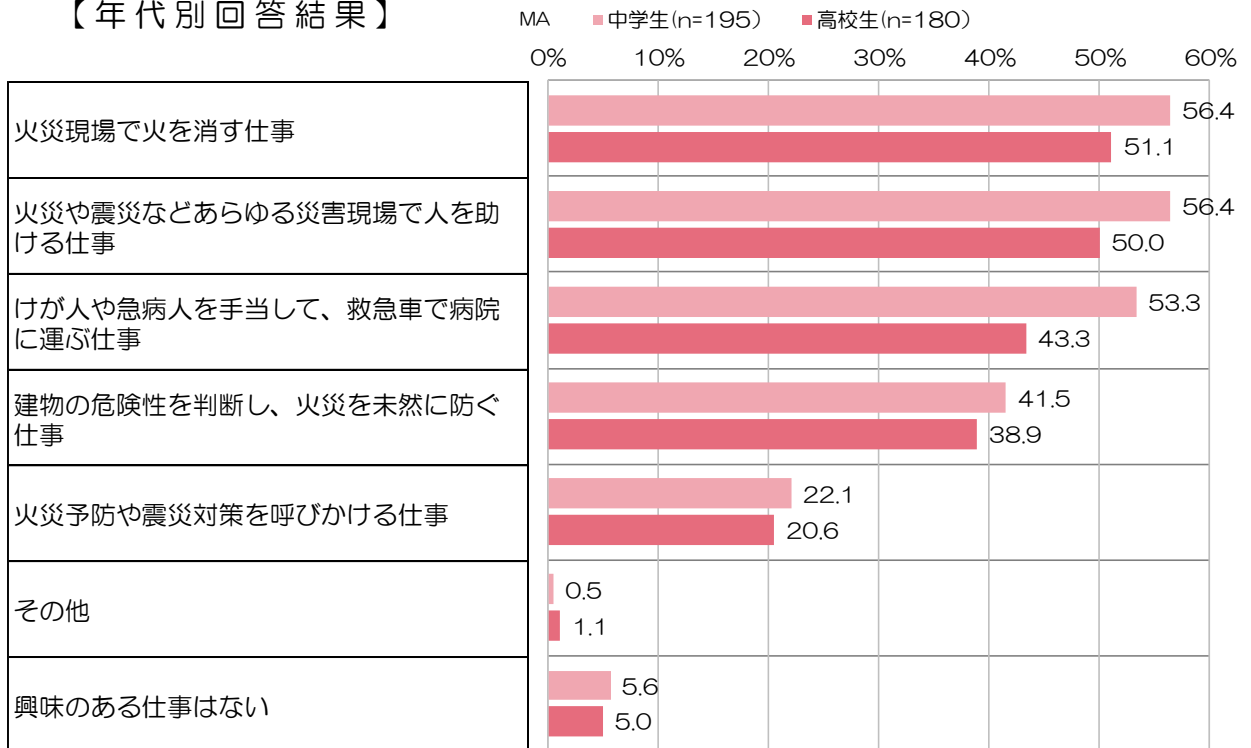
興味のある消防署の仕事

問4 消防署のどのような仕事に興味がありますか。
あてはまるものをいくつでも選んでください。



中学生では、「火災現場で火を消す仕事」と「火災や震災などあらゆる災害現場で人を助ける仕事」が同率で最も高かったです。
一方、高校生では、「火災現場で火を消す仕事」が最も高く、以下、「火災や震災などあらゆる災害現場で人を助ける仕事」、「けが人や急病人を手当して、救急車で病院に運ぶ仕事」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- 電話などで人を助けている様子。（中学生 女性 台東区）

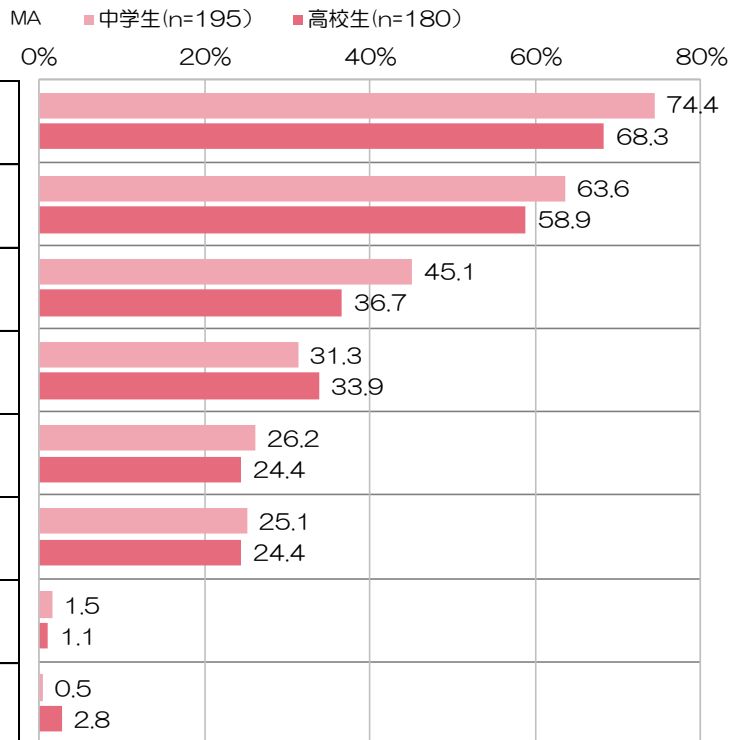
興味のある消防車両

問5 どのような消防の乗り物に興味がありますか。



中学生、高校生ともに「消防ヘリコプター」が最も高く、以下、「消防艇」、「はしご車」などと続いています。

【年代別回答結果】



【その他の主なご意見】

- ・ 指揮車（高校生 男性 世田谷区）

ポンプ車



はしご車



救助車



救急車



消防艇 (しづき)



消防ヘリコプター (ひばり)



テーマ4 「中高生 政策決定 参画プロジェクト」

東京都では、様々な方法で子供の意見を聴く取組を進めています。今年から新たに始まった「中高生 政策決定参画プロジェクト」では、中高生が対象となる政策について、参加メンバーで議論し、知事へ政策提案を行います。提案内容は都の政策へ反映していきます。今年のプロジェクトには、中高生12名が参加し、「将来のためになるリアルな体験活動の充実」をテーマに、議論を行いました。

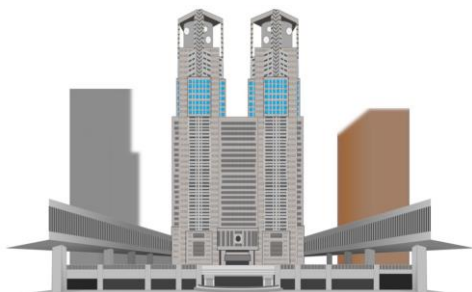
※今年の活動の様子については、下記の東京都のHPを確認してください。

https://www.kodomoseisaku.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/kodom-oiken/chukosei_seisaku

来年のプロジェクトの議論テーマを決めるために、皆さんの意見を聴かせて下さい。

【調査項目】

問1 中高生が議論するテーマとして一番いいと思うもの



中高生が議論するテーマとして一番いいと思うもの

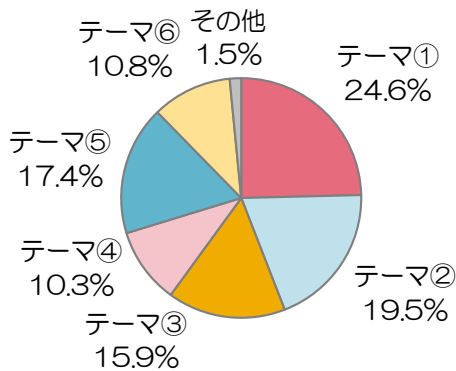
問1 来年のプロジェクトの議論テーマを、みなさんの投票で決定したいと思います。以下の中から、中高生が議論するテーマとして一番いいと思うものを1つ選んでください。



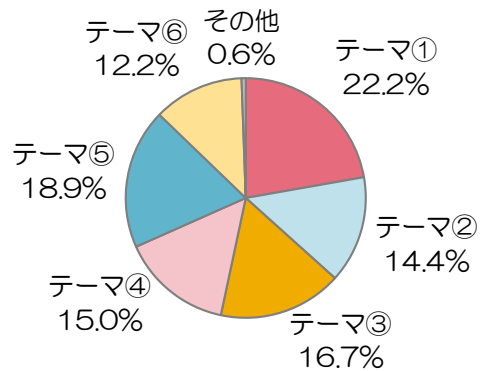
中学生、高校生ともに「中高生にビジネスや起業に親しみをもってもらおう～挑戦者を生み出す東京へ～」が最も高かったです。
二番目に高いものは、中学生では、「都立スポーツ施設ができること～都立スポーツ施設に来てもらうには?～」、高校生では、「伝統工芸品の魅力発信」でした。

【年代別回答結果】

中学生(n=195)



高校生(n=180)



	テーマの内容
テーマ①	<p>【中高生にビジネスや起業に親しみをもってもらおう～挑戦者を生み出す東京へ～】 新しい考え方で新たなサービスを創造していくことは、社会課題の解決や経済の活性化につながり、世界中の人から感謝されるかもしれません。そのため、東京都は革新的なアイデアを生み出す若者を増やしたいと考えています。 このテーマでは、「中高生がビジネスや起業を身近に感じ、将来、起業したり、創造的な取組にチャレンジするようになるためにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※大学生にビジネスや起業に興味を持ってもらう東京都の取組もありますので、以下のリンクから確認してください。 https://www.ideaation-jam.metro.tokyo.lg.jp/</p>
テーマ②	<p>【都立スポーツ施設ができること～都立スポーツ施設に来てもらうには?～】 東京都には、東京体育館や味の素スタジアムなどの都立スポーツ施設が、18施設あります。スポーツやそれ以外の多様な目的で、これまで以上に中高生に施設を利用してもらいたいと考えています。 このテーマでは、「どのようなコンテンツがあれば、都立スポーツ施設を中高生が利用しやすくなるか」や「都立スポーツ施設で展開するコンテンツを中高生に知ってもらうにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※都立スポーツ施設について、もっと詳しい内容を知りたい場合は、以下のリンクから確認してください。 https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/sportsClass/sportsClass.html</p>
テーマ③	<p>【海外の中高生に向けた東京観光PR】 江戸から続く伝統や最先端の文化、食や豊かな自然など、東京には多彩な魅力があり、日々世界中の人が訪れています。このテーマでは、「海外の同年代に向けて、東京の魅力を発信していくためにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※観光PRに関する東京都の取組について、もっと詳しい内容を知りたい場合は、以下のリンクから確認してください。 https://tokyobesties.tokyotokyo.jp/</p>
テーマ④	<p>【若い世代からの食育の推進】 食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることで、あらゆる世代の人々に必要なものです。 このテーマでは、「同世代の人たちに食育を進めるためにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※食育に関する東京都の取組について、もっと詳しい内容を知りたい場合は、以下のリンクから確認してください。 https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/basic/nourin/shokuiku</p>
テーマ⑤	<p>【伝統工芸品の魅力発信】 東京都には、未来に繋いでいく必要がある優れた伝統工芸品が多数存在します。しかし、それらの魅力は若者に充分伝わっているとは言えないのが現状です。 このテーマでは、「中高生に伝統工芸品を身近に感じてもらうためにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※伝統工芸品について、もっと詳しい内容を知りたい場合は、以下のリンクから確認してください。 https://www.dento-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/</p>
テーマ⑥	<p>【みどりと生きるまちづくり】 東京都では、「自然と調和した持続可能な都市」を目指し、都民や企業など様々な方々と、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を実施しています。 このテーマでは、「中高生の緑への関心を高め、東京都の緑をまもり、増やすためにはどうすればいいか」を議論・提案してもらいます！ ※東京グリーンビズについて、もっと詳しい内容を知りたい場合は、以下のリンクから確認してください。 https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/tokyo-greenbiz-advisoryboard</p>

自由意見

今回のテーマ（東京の空・大気、消防官募集の広報、ポスターコンクール）について、ほかにもご意見がある場合は、自由に書いてください（300文字まで）

【中学生】

(1) 東京港に関するインフラ情報の一元化	5件
(2) 都民防災教育センター	8件
(3) 消防博物館の特別企画展	13件
(4) 「中高生 政策決定参画プロジェクト」	9件
(5) 複数テーマに関するご意見	11件

【高校生】

(1) 東京港に関するインフラ情報の一元化	4件
(2) 都民防災教育センター	10件
(3) 消防博物館の特別企画展	8件
(4) 「中高生 政策決定参画プロジェクト」	10件
(5) 複数テーマに関するご意見	7件

(1) 東京港に関するインフラ情報の一元化に関するご意見

- 東京港にある施設の情報や、自然の情報をインターネットで得やすくしてほしい。（中学生 男性 小金井市）
- 東京港における環境に対する取り組みについて知らなかったなので、もっと詳しく知りたいと思った。（中学生 女性 杉並区）
- 東京湾に防災やエネルギーの関係があるとは知らなかったなので、もっと広報でアピールすると思いました（高校生 男性 豊島区）
- 東京港の役割や現状について興味を持った。川と海では管轄も異なるのだろうが、東京港にそそぐ川との連携や、東京港から世界につながっていく航路や物流についてもっとよく知りたいと思った。（高校生 男性 杉並区）

（２）都民防災教育センターに関するご意見

- InstagramやTwitter、YoutubeなどのSNSで多くの発信をしてほしいです。また、体験型プログラムがあると、より理解が深まると思いました。
（中学生 女性 港区）
- 本所防災館で2時間くらいかけてまわるツアーに参加したことがあります。是非、都内の学校の校外学習で行くべきだと思います。墨田区以外の学校もバスなど使っていくべきだと思います。それくらい価値のある施設だと思ったので。（中学生 女性 中央区）
- そなエリアも活用して災害への関心を強めて欲しいです。東京に住む私たちが特に防災意識が低いと思っているので、東京の防災についてもっと知りたいです。（高校生 女性 大田区）
- 災害に関することや救助などの情報は、実際の災害時の映像や再現VTRなどを流したりする場合は必ずワンクッション置いて見せてもいいか確認をとり、それを見なくても良い状況にしてほしい。パニックを起こし、日常生活に影響が出てしまうので、実際の映像などを見せずとも理解できるよう、抽象的なイラストも用意しておくなどすると良いと思う。
（高校生 女性 狛江市）

（３）消防博物館の特別企画展に関するご意見

- 私は消防博物館があることを知りませんでした。私の周りにはいる友達に聞いても同じでした。もっと広報をして若い人たちが興味関心が持てるイベントを開催してほしいと思いました。（中学生 男性 足立区）
- 博物館の中で、画面を自分でタッチしたりクイズに挑戦して、学べるものが増えたら良いと思った。（中学生 女性 町田市）
- 消防博物館は小学生とか子供は行く機会が多そうだけど、高校生は、就職とかにつながるため、もう少し学校とかで知らせてもいいと思う。高校三年生になると、消防士を目指す人が身近にいるためもう少し情報があっても良いと思った。（高校生 女性 青梅市）

(4) 「中高生 政策決定参画プロジェクト」に関するご意見

- もっと、中高生の意見を気軽に国や都に伝えることができる制度を作ったら、国や都が良くなると思います。(中学生 女性 練馬区)
- 中高生に意見を聞くことで、新しい視点が得られると思った。また、討論内容はよりよい東京について現状や課題、解決にはどうするべきかを多角的視点から話し合えるようにしてほしい。(中学生 男性 多摩市)
- 中高生プロジェクトに興味があります。税金のこと、AIを利用した将来の仕事、若者の貧困率など、未来を考えるプロジェクトに参加したいです。(高校生 女性 江戸川区)
- 中高生の話し合いの人数を多くして、何個もグループを作り、途中でメンバーを入れ替えてみると新たな発見などがあってよいと思う。ぜひ参加してみたい。(高校生 男性 府中市)

(5) 複数テーマに関するご意見

- 防災館へは家族や学校で行った事があり、地震や火災のこわさを体験しました。行って初めて知る事や、疑似体験で自然災害の怖さを知ったので、多くの人に体験してもらいたい、災害が発生した時の対策を身に付けておいてほしいと思いました。また、消防博物館は初めて知ったので、今度行ってみたいと思いました。現在と時代による変化を見てみたいです。(中学生 女性 墨田区)
- 消防博物館の認知度が低い。どこにあり、何をするのがイメージつかない。防災館は、何かを体験したりするイメージがあるが、博物館は見るだけで何も体験がないのかなと思ってしまう。SNSを利用して、動画配信やイベントを多く開催して親子で行きたいと思えるイメージがつくと良い。(中学生 女性 日野市)
- 中学生や高校生が消防や防災の取り組みに興味を持つように、SNSでの活動内容の拡散を増やすべきだと思います(高校生 男性 豊島区)